

会長挨拶

浦和稲門会々長 柏 茲



平成22(2010)年 庚寅(かのえとら)の年明け早々期待された箱根駅伝は東洋大の完全優勝での2連覇に終わり、再び来年を期すこととなり、ラグビーも大学選手権初優勝の帝京大に既に敗れており登場することもできず淋しい正月でした。しかしサッカーでは女子が2-1で神奈川大を破り4大会ぶり2度目の優勝という朗報があり女性陣活躍を予感させる年初でした。

昨年後半の報告になりますが、11月7日(土)県支部大会が飯能プリンスホテルにて狭山間稲門会のホストと会場の関係で復活し、新しく誕生した飯能日高稲門会も加わり200名以上の会員で盛大に行なわれました。利根様は校友会常任幹事、埼玉りそな銀行グループの代表として出席され、当会として遠藤、大熊、金子努、金子裕司、巽、の諸兄と私で出席しました。平成22年度は、上尾稲門会のホストで11月13日第2土曜日に行なわれる予定で引き継がれました。今年は近隣の開催となり2桁の参加者を依頼されると思われまますのでご協力をお願いいたします。次に12月12日(土)午後商議員フォーラムが大学の新11号館5F(元の商学部跡)にて行なわれ辻村さんと出席しました。最初に商学部の現況と「日本経済を支える中小企業」という鶴飼信一商学学術院教授の現状を捕らえた私には直結する素晴らしい講義がありました。続いて新しく同館に移った国際教養学部のスノードン・ポール国際学術院長による「“国際”と“教養”の組み合わせ:実験か、冒険か」という同学部を紹介する講義が行なわれました。同学部は帰国生徒受け入れが主でなく、受けた教育言語により日本2外国1の比率を目ざした構成で国際交流の出来る社会人養成をしたいということでした。英語力で分けたSP①グループは2~3年次に1年間1大学10名以下にして提携する全世界の大学300プログラムで単位取得させる留学を全員に課すとのことでした。現在迄の第1,2期卒業生の就職状況も上々とのことで今後話題となる学部と思われまます。又「学報12月号」に留学生を主体とした秋の卒業、入学式の白井総長の挨拶が載っています。卒業式では、2卒業生のNPO活動を紹介します。「なんでもやろう」の早稲田精神を大切に、小さなことでも出来るところから志高く行動して下さいと、又入学式では“建学の精神”と歴史を理解し、数千と言われる多彩なサークル活動及び組織を通じたボランティア活動に、再びスポーツを主軸とした活動を加えて強靱な気力、知力、体力を養って下さいとありますが、その中で現在の商、国際教養2学部及び大学院各研究科の秋入学制度を今年から政経、理工系3学部が実施、来年からは社会科学部でも始める予定と述べられています。昨年9月は合計855名が卒業、新入生が合計760名との事です。このように大学が国際化に向け多様化してゆく新生WASEDAに対しOBの支援が永久に求められることでしょう。尚、本年は一昨年(2018)の大学125周年に続いて校友会125周年にあたり秋に周年行事が予定されているようです。1884年(M17)東京専門学校第1回卒業生12名が出た翌1885(M18)12月に同窓会組織として校友会が設立され125年になるわけです。ご存知の通り校友会会長は大学総長ということで現在は白井総長ですが、実質のトップとして活動されるのは代表幹事で現在は福田秋秀様(草加稲門会)ですので、秋の記念行事に何等かの協力を依頼された場合にはご協力をお願いいたします。当会は、今年も吉田部会長のゴルフ部会を主体に、金子努部会長の麻雀部会、細田部会長の旅行部会と新年会の中で開設の話が出た、重田、辻村総長による囲碁部会が加わり4部会となりました。各部会活動に皆様の積極的な参加をいただき、一層の会員交流が計られますことを願います。会の運営も皆様の温かいご理解とご支援をいただき順調に推移しておりますことに感謝申しあげますと共に、健康に留意され引き続き会へのお力添えを下さいますようお願い申しあげます。

浦和稲門会会報

No 8

平成22年 4月

発行人

浦和稲門会
事務局 金子裕司

TEL (861) 3445

FAX 〒330-0065

さいたま市浦和区

神明 2-13-10

浦和稲門会 総会のご案内

平成21年 5月17日(日) 会場 浦和ワシントンホテル3F

プリムローズ 受付開始 16:30 会食・17:00

会員の皆様、是非とも大勢お集まり下さい。

* 講演 「最近の日本経済の動向」

財団法人 埼玉りそな産業協力財団理事長

講師 利根忠博様

* 余興 「バイオリン漫談」

マグナム小林

(平成6年 当校社会学部卒)

講師略歴

利根忠博	昭和20年9月3日生	利根忠博様
昭和44年3月	早稲田大学政治経済学部卒業	
平成14年8月	埼玉りそな銀行 頭取	
〃 15年5月	財団法人 埼玉りそな産業協力財団 理事長(現職)	
〃 15年10月	埼玉りそな銀行 代表取締役社長	
〃 16年5月	財団法人 全国法人会総連合会 副会長	
	財団法人 浦和法人会 会長(現職)	
〃 16年6月	社団法人 埼玉県法人会連合会 会長	
〃 18年6月	埼玉りそな銀行 取締役会長(現職)	
〃 19年5月	社団法人 埼玉県経営者協会 会長	



平成21年度 事業報告



幹事長 金子裕司

平成21年

- 4月11日(土) 第8回 麻雀大会 10名参加
- 4月19日(日)～20日(月) 第1回浦和稲門会旅行部会一泊旅行
草津温泉「ホテル一井」に宿泊、翌日草津カントリーにてゴルフ 12名参加
- 4月22日(水) H.20年度会計監査 5名出席(辻村副会長、金子幹事長、山中会計、荒川監査、綱川監査)
- 5月17日(日) 浦和稲門会定期総会・懇親会 浦和ワシントンホテル60名出席
ご来賓：早稲田大学学生部調査役 兼 奨学課長 斎藤 鉄生 様
- 5月19日(水) 浦和東京六大学役員コンペプレステージカントリークラブ 5名参加
- 6月4日(木) 早稲田大学校友会埼玉支部役員会 川口そごう10F「ホテルオークラレストラン桃源」(柏会長、金子幹事長) 2名出席
- 6月13日(土) 第9回 麻雀大会 11名参加
5時より第1回役員幹事会 割烹千代田 13名出席
- 7月24日(金)～25日(土) 浦和稲門会有志 一泊ゴルフ
ジュンクラシックカントリー 11名参加
- 8月8日(土) 第10回 麻雀大会 10名参加
- 9月5日(土) 第2回 役員幹事会 割烹千代田 14名参加

- 9月9日(水) 東京六大学役員コンペ 嵐山カントリー 5名参加
- 9月26日(土) 代議員大会 大隈講堂 2名出席 (若井幹事・小滝幹事)
- 10月2日(金)～3日(土) 第31回 浦和稲門会ゴルフコンペ
軽井沢 7 2 北コース 19名参加
- 10月10日(土) 第11回 麻雀大会 9名参加
- 10月18日(日) 稲門祭 金子幹事長・秋本幹事参加
- 10月24日(土) 第3回役員幹事会 よし寿司浦和店 12名出席
- 11月7日(土) 早稲田大学校友会埼玉県支部大会 飯能プリンスホテル
(柏会長・大熊副会長・金子幹事長・遠藤幹事・金子努幹事) 5名出席
- 11月14日(土) 大宮稲門会定期総会・懇親会 柏会長 大宮清水園 1名出席
- 11月15日(日)～16日(月) 第2回 浦和稲門会旅行部会一泊旅行
湯村温泉「甲府富士屋ホテル」 10名参加
- 12月2日(水) 第32回 浦和稲門会ゴルフコンペ 森林公園ゴルフ
クラブ 24名参加 プレー終了後 割烹千代田にて忘年会
- 12月12日(土) 第12回 麻雀大会 10名参加
H.22年
- 1月16日(土) 浦和稲門会新年会・懇親会 浦和パインズホテル 58名出席
- 2月13日(土) 第13回 麻雀大会 14名参加
- 3月7日(日) 第1回 囲碁大会 名参加
- 3月13日(土) 第4回 役員幹事会 うなぎの山崎屋 20名出席
- 3月24日(水) 第33回 浦和稲門会ゴルフコンペ 小山カントリー 25名参加

21年度 総 会



総会 出席者



早稲田大学 チンドンクラブ



講演の利根氏



早稲田大学学生部調査役
齊藤鉄夫様



ゴルフ部会長
吉田俊夫

21年度 新 年 会



談和する
会員



都の西北 校歌を全員で歌う



会員報告

あるヨットマンの軌跡



NHK島津有理子アナと

私が早稲田を志望したきっかけは母のイトコの石田の叔父の存在だった。名を石田晋也という。私の名前も叔父からもらったものだ。叔父は早稲田ヨットクラブ（体育会ヨット部）で7年間ヨット三昧、潮気いっぱいを送り、昭和37年法学部を卒業。ローマ・オリンピックの候補となるほどの名ヨットマンであった。卒業後、ヨット雑誌の出版社、舵社に就職。その後、独立して出版を業とした。在学中、叔父の会社でアルバイトをさせてもらい、夜は何度も飲ませてもらった。ヨットマンとして活躍した叔父の青春、悠然と会社を経営する姿も憧れの的だった。叔父は平成12年5月に仲間と大島・下田に最後のクルージングをしたあと病みついて秋に亡くなった。享年六十三歳。叔父が終生気にかけていたことがは、昭和37年11月3日の初島ヨットレースで早稲田の大型艇「早風」が遭難し、六名の後輩クルーを死なせてしまったことだった。

叔父の告別式で棺に入れられたのは、クラブのネクタイ、ヨットに装着する臙脂に白十字のクラブ旗、そして、仏壇の中にかけて毎日拝んでいた、初島ヨットレースで物故した人々の名前が書かれた掛け軸。早すぎる死ではあったが、叔父はきっとうれしかったに違いない。あの世で再開した後輩クルーたちと、三途の川で思う存分ヨットを楽しむことができるのだから。戒名、釈帆航。ヨットマンにふさわしい素晴らしい戒名であるまいか。私がリードしヨットクラブOBの方々と歌った。「都の西北」は昇天する叔父の耳に届いていたろうか。

千葉 晋也

新米パパの奮闘記



我が家のエンゼル双子ちゃん

平成20年11月12日、我が家に二人のエンジェルが舞い降りました。「えっ、二人!？」そうなんです。我が家にふたごの女の子が誕生しました。以来約1年3ヶ月の月日が過ぎ、すくすくと元気に成長しています。ふたごということに加え初めての子供ということもあり、毎日が戸惑いと驚きそして感動の連続です。子育てをしていて驚いたのは、子供の持つ「パワー」です。

まずは「身体の成長パワー」。最近まで来ていた服や靴下などが、気がついたら小さくなっていることもたびたび。驚くばかりの早さです。また1歳を過ぎたあたりから歩きはじめ、ますます2人から目が離せなくなりました。次に「心の成長パワー」。最近では少しずつ言葉らしきものを発するようになりました。そして1人が泣いていると、もう1人が「いいいいこ」をして頭を撫でるなどのしぐさをするなど思いやりといったら言い過ぎかもしれませんが他を認識するようになってきました。そして「親に与えるパワー」も並大抵のものではありません。子供たちが生まれて以来、より一層仕事に熱が入り、家業である自動車学校の経営と会社のカイゼンを先頭に立って取り組んでおります。従来この業界の悪しき伝統を棄て、「早く・楽しく・無事故無違反の免許」

をご提供することをお客様に喜んで頂ける仕組みの創造、また真に地域に必要とされる教習所創りの一環として、毎月「交通安全ニュースレター」を3万部発行し指導員が皆様に直接お配りする等活动を行ないご好評を頂いております。この結果でしょうか、おかげさまで毎年お客様の数も順調に増加しております。これからも良き父親として子供たちの成長を見守り、自分自身も父親として又人間として成長できるように、日々努力してまいる所存です。

いつの日か、娘たちと「都の西北」を歌えることを夢見て・・・。

平成9年商学部卒 秋本 高幸

浦和稲門会と昭和55年卒年次稲門会



堀尾アナウンサーと

浦和稲門会入って10年以上たちます。奥島孝康元総長、石井連蔵元野球部監督、轡田隆史元朝日新聞論説委員などの方々の貴重な講演をお聞きました。特に『ロボットと社会』（岩波書店）の著者で長谷川幸男先生は同じ元町一丁目在住で、一度御自宅でワインをご馳走になり、長時間様々なお話を伺いました。同年代の千葉晋也さんという友人もできました。さて私は2004年に卒業25年目のホームカミングデーで大学に久々に行き、それを契機に設立された昭和55年卒年次稲門会に参加し、現在広報担当の幹事をしています。会長はレスリングで4回五輪代表になり、ロスアンゼルス、ソウルで銀メダルの太田章スポーツ科学部準教授です。年一度総会を開き、昨年は稲門祭を手伝いました。浦和稲門会からも数人55会に参加しています。同期にはマラソンの瀬古利彦さん、サッカーの岡田武史さん、野球の岡田彰布さんなどがいて、125周年のときにはトークショーやオークションをして売り上げを大学に寄付しました。また大隈講

堂でカラヤンが指揮した当時のワセオケの団員や現在の本学教授、国会議員もいます。私は大学時代に大学時代に第一文学部哲学科で授業が一緒だったアナウンサーの堀尾正明さんに総会の司会をお願いしました。堀尾さんは長女の浦和第一女子高でスーパーサイエンスハイスクールの授業の特別講師を毎年務めておられます。私も二人の子供も浦和育ちで中学校まで同じ学校に通いました。

清水 克郎



渡部 巖夫 35年法学部卒

賛同した記憶があります。証書は今でも誇りに思い大切に保管しています。早稲田大学の校歌「都の西北」を作詞された「相馬御風」先生も大先輩で高田高校は早稲田大学と縁が深く、早稲田を受験する人が多いのです。我らが故郷は、人の和に加え自然の美しさがすばらしいのです。「高田の四季」に曰く

春 雪洞に映える夜桜（三大夜桜の一つ） 夏 日本海での海水浴、春日山散策

秋 紅葉と妙高山への登山

冬 日本のスキー発祥の地、合谷山でスキー ・我が心のふるさとへどうぞ!!

『千秋の人・吉田松陰』



長谷川 勤 46年社会科学部卒

私は厚木市にある「松陰大学」で『吉田松陰論』を、学生と共に勉強している。幕藩体制では、ペリーの「開国要求」対処出来ず、「砲艦外交」に屈して開国。多様大名は幕政参加を禁じていたが、時の老中は幕府の外交独裁権を放棄し、対応意見を募った。ここから、幕末の政局は混迷化。西欧との国交問題と国内統治を巡って紛糾。「開国と攘夷」、「佐幕と反幕」、等の甲論乙駁の噴出となり、主導権を握るべく暗闘。山鹿流兵学師範であった松陰は、「黒船」を詳細に観察。背後にある国力、軍事力、文明力を洞察。国禁を犯して「米国渡航」を企てるが失敗。有名な『かくすれば、かくなるものと知りながら止むに止まれぬ大和魂』の語はこの時の心境を詠ったもの。身命を賭しての挙であった。「二十一回猛士」の号の由来もここに起因。獄舎に収監されるも、「志」を枉げずに猛烈な読書と思索を重ねる。免獄後の「松下村塾」主宰による人材育成は「教育の奇跡」を生む。「安政の大獄」に連座して29歳の生涯を閉じるが、「吾、死すれば必ず1人、吾が志を継ぐ者を残し置くなり」の語通り、実践した。最後の著作となった『留魂録』

を門下生宛てに認め、師自ら死んで見せた。これに奮起した門下生の活躍が、長州藩を幕末政局の雄たらしめた。短期間に俊秀を育成し、威信の発火点となった松陰は、『万巻の書を読むに非ざれば寧ろ千秋の人たるを得ん』と塾生に鼓舞し、歴史の人となった。

『熟年の英語研修』



服部 英昭 40年第一理工学部卒

小生は、45年間務めたサラリーマン時代は全くといってよいほど海外とは無縁であった。従って英語を始めとする外国語も本質的に必要性を感じることなく定年を迎えた。このサラリーマン時代に数回英語会話の習得に挑戦したことはあったが、習得してもその後の活用場がなく、その挑戦が結果的に無駄となって時が流れていった。そして定年を迎えた訳であるが、と同時に外国旅行をしなくなって、今までにイタリア、スイス、スペイン、北欧4ヶ国(スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デンマーク)、エジプト、トルコ、中国、台湾、韓国、ニュージーランドと年3回ペースで実行してきた。そこで感じたことが「英会話が出来たら、もっと旅が楽しめるのに」ということであった。英会話の学校は沢山あるが何となく通う気持ちになれないまま時が過ぎていった。そのような時に毎月配布される「熟年時代」という折込新聞の中に「熟年時代の英語研修ホームステイ」という旅の企画が掲載されていた。63万円という費用よりも経験したいという気持ちの方が勝り、説明会に参加し、殆ど会話が出来なくても参加することに何ら支障がないことから、直ちに手続きを行った。そして、昨年10～11月に掛けて1ヶ月間のニュージーランドのウェリントンにある国立マッセイ大学に語学留学。英語しか通じないホストファミリーとの生活も経験した。「案ずるよりも生むが安し」の言葉通りで、この経験は英語圏の海外旅行にある程度自信を持たせてくれた。違った生活環境も経験でき、学生時代以来の下宿生活のような若き日に戻ったような素晴らしい経験であった。

志は高く、腰は低く



木村 勇夫 H4年政経学部卒

早稲田には本当にお世話になりました。大学にも、そして早稲田のまちにもです。ラーメンは、地下鉄早稲田駅近くの「メルシー」、カレーは、今はなき「カレー藤」、居酒屋は、グランド坂下のおでんや「志のぶ」で、お世話になりました。また、私自身の結婚式の、2次会・3次会は、「清龍」・「海の家」という早稲田マンには黄金の組み合わせで行いました。

昭和の最後に入学した私の学生時代は、ちょうど、バブル経済の真っ最中で、時代の変り目でした。入学したときあった安部球場は、卒業時には図書館の変わりました。スポーツでは、1年生のときに雪の早明戦を経験し、大変感激したのを覚えています。学校周辺には毎日のように出没するものの、授業にはほとんど出ず、マージャンやったり、お酒を飲んだりばかりしてました。まだ、ケータイも無い時代で、試験前には雀荘で友人に情報をもらう、という有様でした。

ほとんど勉強もせず、しかも留年してしまい、実家の親（四国）には大変迷惑を掛けてしまいましたしかし、やはり、早稲田に来てよかった。「友達を大切にする」「お酒は楽しく飲む」

これが、早稲田で学んだことで、今も大変役立っています。縁あって、サラリーマンから政治の世界に移り、今では県議員として働かせていただいておりますが、早稲田マンらしく、「志は高く、腰は低く」、これからも活動してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



身辺雑記

阿部 忠行 41年院法学研究科終了

今年に入り平成年号も22年目を迎えた。改めて月日の過ぎ行く早さに驚いている昨今である。昨年を顧みると何と言っても政権交代が大きな出来事であった。日本では自民党へ、米国においては共和党から民主党へと各国民は政権選択をした。また昨年末はデンマークのコペンハーゲンでCOP15(国連気候変動枠組条約締約国会議)が開催された。環境問題は大きなテーマであり、GHG(温室効果ガス)排出による地球温暖化防止は喫緊の課題であろう。筆者は日々マスコミを通じて報道される内外の景気動向にも勿論関心があるが年々悪化の一途を辿る環境に最大の関心がある。地球環境の悪化は明白な事実であり、対応措置を講じないで拱手傍観していれば地球環境が生命の存在を許さない状況になるのではないか。COP15において日本はGHGを90年比25%削減という思い切った削減率を提唱したが、参加国はそれぞれの思惑があり足並みは乱れている。会議の行方は地球の未来がかかっているというのに、大半の国はこの重大性に関する認識が薄く自己主張に終始している印象を与えたのは遺憾の極みである。本年入りにポチポチ各国の削減率が提案されつつあるが基準年の設定に関しても90年等一定していない。日本とEUは90年比の削減率を提唱し、GHG最大排出国の中国・米国は05年比を提案。国際会議の難しさをみる思いである。日本が提唱している90年比25%という数値は突出しており、この削減率を実現しようとすれば日本国全体に大きな負担がかかる。産業界は挙って反対しているがそれも故無しとしないと思う。子の様にGHG削減については先進国と経済成長を第一義に標榜する中国・インドなど新興国の対立が顕著になっている。地球環境保護の見地から公平・公正にPOST今日と議定書の枠組みを早急に構築すべきであろう。COP16の議長国はメキシコに決定した。議長国の手腕に期待するところ大である。

囲碁部会

囲碁部会発足にあたって

36年 文卒 辻村 稔

今度、新加入しまして、早速囲碁部会を作ることになりました。私は南浦和駅前で囲碁センターとカラオケ店を経営して十三年になります。大学では囲碁部に入っておりませんが独学で勉強しつつの間にか覚えて六十年。その間埼玉名人を2度取っております。現在は教室を中心に初心者育てることを重点に経営しております。囲碁の歴史は古いのですが、日本では趣味として、韓国や中国では教育の一科目として学校で教えていて十代の一流棋士が多数ひしめいている様です。囲碁というのは、脳の運動・感覚(直感とひらめき決断等)知覚(考える)記憶等に総合的に影響するゲームで中高年のボケ防止には最適といわれています。外国では体力のない子供でも早く一流になり大金をかせげるということで一番人気になっているほどです。しかし七十才を超えた私の考えは、アンチエイジング(坑加齢)。これからの人生を健康で長生き、毎日を楽しむということにシフトチェンジしました。その為には同調する良き仲間が必要です。囲碁とカラオケで仲間を増やして大いに楽しいときを過ごそうではありませんか。囲碁部会発足の案内を出しまして参加のご返事を頂きました方が十七名程になり、第一回会合を三月七日(日)当・囲碁センターで行いました。有段者も初心者も午後二時から午後五時迄三時間程楽しく基盤を囲む事が出来ました。初めての会合でしたが、さすが同窓生、すぐに打とけて和気あいあいこれからの方針を話し合いました。毎月一回第二日曜日午後ということで次回は4月11日になります。将来は全早稲田囲碁フェスティバルに参加出来ればと思います。ありがとうございました。



麻雀部会

麻雀部会だより

金子麻雀部会長



辻村囲碁部会長



囲碁センター 初会合



重田 世話人

平成21年12月12日(土)、雀荘スターにて初試みの早慶麻雀大会が、11:00amスタートで和気藹藹に開催されました。17名4卓皆さん時間厳守で集合し、定時に開会できました。三田会さんが用意して下さいましたネームプレートに稲門会会員が各自名前を書き入れ、自己紹介を簡潔に済ませていただくことができました。三田会事務局の斎藤さんの適宜な御配慮に感服いたしました。早慶初対面の方々ばかりなのに、十年來の友人の様でゲームは進められました。4回半荘、入れ替え戦でゲーム中飲食自由(アルコール含む)の稲門会ルールにて、始終笑い声の耐えない大会になりました、嬉しくまた楽しかったですね。初の個人戦優勝の榮は、三田会の斎藤貢一さんの頭上に輝きました。個人戦、団体戦とも4回の半荘の総得点にて争われましたが圧倒的な成績にての優勝でした。対抗戦はというと、高得点者を4人揃えた稲門会が勝利を収めました。溜飲がが下がるわけですが、個人戦、団体戦と共に分け合った形で終了出来たわけで、めでたしめでたしの大団円になりました。年に2回ほど早慶戦を開くことで皆さんと決議し、再会を楽しみとさんかいいたしました。

参加棋士(あいうえお順、敬称略)

(三田会) 秋本圭子、北川幸彦、久保恭一、斎藤貢一、橋本茂晴、松崎和右、山中樞機 7人

(稲門会) 遠藤勇一、金子努、高橋雄一、巽正典、野島照雄、細田拓、山中健次郎、若井誠治、和田浩一、渡部巖夫 10名

成績 優勝 斎藤貢一 2位 渡部巖夫 3位 和田浩一



早慶 麻雀大会 開催

ゴルフ部会

浦和六大学校友会今昔

吉田部会長

私が平成11年より、当ゴルフ部会の部会長を引き受けてより早や12年の歳月を経てしまいました。その間、巽さん始め部会員の暖かい協力を得て「楽しもう」をモットーに年3回の定期プレーを行ってまいり、昨年末で32回目を終えることが出来ました。平成13・14年には立教校友会よりの申し入れにより対抗戦を行い、その節、どうせやるなら浦和六大学校友会対抗戦を行なったらとの話が持ち上がり、平成15年には慶應・立教両校友会との3大学校友会対抗戦を、平成16年には慶應・明治・立教・法政5校校友会との5大学校友会対抗戦を行い、これを浦和六大学校友会の第一戦とし、翌17年には東京も参加、名実共に浦和校友会となりました。その後、各校校友会持ち回りにて今日まで至りました。ここに、各年度の団体順位・個人優勝・個人準優勝を記載し今日までの経過を振り返ってみたいと思います。

第一回	平成16年10月15日(金) 東京ゴルフ倶楽部 (法政 特別参加)(グロスにて)	主催校 慶 應 個人優勝 染谷(立)	団体順位 立教・慶應・早稲田・明治・ 準優勝 山中(慶)
第二回	平成17年10月13日(木) 大宮ゴルフコース 法政・東京	主催校 明 治 個人優勝 鈴木(明)	団体順位 明治・慶應・早稲田・立教・ 準優勝 福田(明)
第三回	平成18年10月18日(水) 宮の森CC 慶應・東京	主催校 法 政 個人優勝 曾根(早)	団体順位 早稲田・明治・立教・法政・ 準優勝 山中(慶)
第四回	平成19年10月23日(火) 武蔵富士CC 法政・明治 (以後新ペリア)	主催校 東 京 個人優勝 山本(早)	団体順位 早稲田・東京・慶應・立教・ 準優勝 佐藤(慶)
第五回	平成20年10月21日() 大和根CC 早稲田・東京	主催校 早稲田 個人優勝 片山(立)	団体順位 立教・慶應・法政・明治・ 準優勝 相川(立)
第六回	平成21年11月9日(月) 嵐山CC 法政・慶應	主催校 立 教 個人優勝 染谷(立)	団体順位 立教・早稲田・明治・東京・ 準優勝 田中(立)

以上でこれまでの戦績を記して参りましたが、その間、多数の各校友会の方々と知り合い、皆様から暖かいお言葉等を頂き、実に心の豊かさを感じる日々が送れるようになり、83歳の老人といえども元気に一日一日を送れる量となっていることに心より感謝致しております。今後とも、当部会の参加者が増え、校歌にある「あつまり散じて、人はかわれど、仰ぐは同じき、理想の光」を求め、各部会(麻雀・旅行・囲碁)共々、当校友会の定期戦活動が盛大なる応援を心よりお願い申し上げます。



忘年ゴルフ 21年12月2日 (森林公園ゴルフ場)



吉田ゴルフ部会長



部会 忘年会 (千代田に於いて)



浦和六大学対抗戦
並びに合同パーティー

旅行部会発足

細田旅行部会長

昨年より旅行部会を発足させました。同じ「早稲田」の釜の飯を食べた仲間が浦和という地域で知り合ったのも何かのご縁、旅行を通して交流をもち親睦を深めるのも良いのではないかとスタートさせました。春は4月19日(日)より12名の参加で草津温泉への一泊旅行でした。ホテル「一井」で、湯量の豊富な温泉に浸かった後の宴はお酒も進み、大いに盛り上りました。翌日は有志で草津カントリーのゴルフ、好天に恵まれ楽しい旅行でした。秋は11月15日より「甲州紅葉狩り」と題して甲府方面への一泊旅行。9名の参加でやや家族的な雰囲気の中、一日目は身延山久遠寺参拝と周辺散策。山門からは普通、車で境内まで行くのですが、有志3名が287階段登りに挑戦、思った以上に厳しく、皆体力の衰えを痛感したようです。宿泊は綱川さんの紹介で、湯村温泉「富士屋ホテル」に泊まりましたが、思わぬ歓待を受け、色々とお便りをはかって戴き大変助かりました。美味しい料理でお酒もたっぷり飲み話しが弾みました。二日目は昇仙峡散策、秋晴れの絶好の天気にも恵まれ、紅葉狩りを十分に堪能。そのあとワイナリーを見学、ワインを飲みながらの昼食、そして皆さん思い思いにワインの土産を買って帰りました。今年も春、秋2回予定しております。一般的な団体旅行と趣を変えた稲門会らしい旅行を志向していきたいと思っております。

4/19 草津温泉とゴルフ



酒の宴



ゴルフ組全員



細田旅行部会長



11/15 湯村温泉と身延山



大学関係

早稲田トピックス

◆バンクーバー冬季オリンピック出場者

2010年1月18日、壮行会が開催されました。志賀頭低、ワセダから世界へ届け！
皆様も温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

◆出場選手 学生◆

- | | | |
|--------|----------------|------------------|
| 【スキー】 | ・尾崎 快 (教育4年) | スキー 男子 モーグル |
| | ・渡部 暁斗 (スポ科3年) | スキー 男子 ノルディック複合 |
| | ・柏原 理子 (スポ科1年) | スキー 女子 距離 |
| 【スケート】 | ・酒井 裕唯 (スポ科4年) | スケート 女子 ショートトラック |
| | ・桜井 美馬 (スポ科2年) | スケート 女子 ショートトラック |

◆出場選手 交友◆

- | | | |
|--------|----------------------------|--------------|
| 【スキー】 | ・成瀬 野生 (2007年スポ科卒、岐阜日野自動車) | スキー 男子 距離 |
| 【スケート】 | ・土井 慎悟 (2006年人科卒、開西病院) | スケート 男子 スピード |

◆各種 ランキング

●国家公務員I種合格者

出身大学の合格者数では、東京大学、京都大学について 3 位だった。本学出身の合格者のうち、女性合格者は昨年度の 19 名から 7 名増え、26 名でした。

●新司法試験合格者

今年の受験者数は7,392人。そのうち合格者は男性は1,503人、女性540人でした。合格者の平均年齢は28.84歳で最年長は55歳最年少は24歳。合格率は27.6%でした。

順位	大学名	合格者
1	東京大学	421
2	京都大学	189
3	早稲田大学	96
4	東北大学	65
5	慶應義塾大学	60

順位	大学名	合格者
1	東京大学	216
2	中央大学	162
3	慶應義塾大学	147
4	京都大学	145
5	早稲田大学	124

* 年会費振込みのお願い *

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃 稲門会活動にご協力下さり厚くお礼申し上げます。さて、当会では、年会費として、3千円をお預りし、会の運営に当たらせていただいております。つきましては20年度 年会費お忘れの方は右記にお振込下さいませ様、お願い致します。 敬具

記

年会費振込口座

埼玉りそな銀行 浦和中央支店
普通 1713087 浦和稲門会

お問合せ先 浦和稲門会事務局 金子 迄
TEL&FAX 048-861-3445